

政策対話の今後の進め方について

1. スケジュール

SAICM 関係省庁連絡会議	化学物質と環境に関する 政策対話	SAICM (国際動向)
2015 年		
9 月 1 日 第 14 回関係省庁連絡会議 ・ SAICM 国内実施計画点検報告書のとりまとめ	9 月 3 日 第 8 回政策対話 ・ ICCM4 に向けた対応について 等	9 月 28 日-10 月 2 日 第 4 回国際化学物質管理 会議 (ICCM4)
	12 月 25 日 第 9 回政策対話 ・ ICCM4 の結果報告 ・ 今後の議題についての議論 等	
2016 年		
	6 月頃 第 10 回政策対話 ・ 第 9 回政策対話を踏まえた議論	

2. 今後の議論の方向性について

これまでの政策対話については、その議論は、SAICM 国内実施計画やその点検報告書に反映されてきた。

一方、前回（第 8 回）の政策対話では過去の議論を振り返り、主に以下の(1)～(3)に示すテーマについて委員の関心が示されたところである。これらについては資料 3-2 で関連情報等をまとめているが、これらに限らないものの、第 10 回以降の政策対話では、合意形成に向けてテーマを絞って議論を行っていくことが重要だと考えられる。

- (1) 事故への対応について
- (2) 製品中化学物質の情報共有について
- (3) 人材育成について

3. 今後の運営について

今後の政策対話については、中長期的な運営の観点から、学識経験者による交代座長制により実施していく予定であるが、特に議論の連続性の観点から、日程調整等の際して、可能な限り全ての共同座長が揃うように留意して開催していく。

以上